



手回し充電テレビ・ラジオ

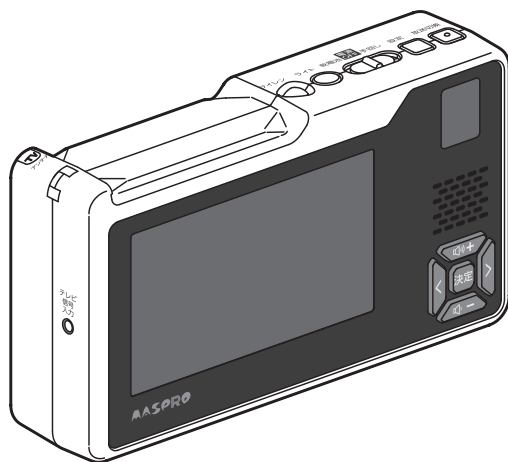
HAND-CRANKED CHARGING TV AND RADIO

HCTVR2

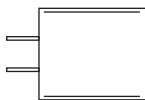
取扱説明書

保証書付

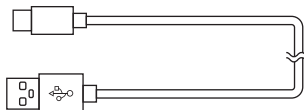
屋内用



付属品



ACアダプター



USBケーブル(約100cm)



F型-MCX変換ケーブル(約20cm)

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	5
特長	6
各部の名称と機能	7
本体	7
メイン画面	8
サブ画面	8
スタンド	9
ストラップ取付孔	9

電源

乾電池の入れ方	10
ACアダプターで充電する	11
モバイルバッテリーで充電する	11
手回し充電ハンドルを回して充電する	12
作動時間の目安	12

基本操作

基本の操作	13
-------	----

テレビを見る

テレビ機能を使用する前に	14
テレビを視聴する	15
テレビメニューの表示	16
一般設定を変更する	17
チャンネルを検索する	18
チャンネルリストで選局する	19
番組表を表示する	19
字幕を表示する	20
音声を変更する	20
テレビの音声のみ聴く	21

ラジオを聴く

FM・AMラジオを聴く	22
-------------	----

その他の機能

ライトを使う	23
サイレンを鳴らす	23
イヤホン出力端子を使用する	23
スマートフォンを充電する	24
テレビ信号入力端子を使用する	26

必要なとき

地上デジタル放送の受信エリア確認方法	27
故障とお考えになる前に	28
別売品	30
規格表	31
商標について	31
保証書	32

- 付属のACアダプターは本機専用です。本機以外に使用しないでください。また、他のACアダプターを本機に使用しないでください。
- 付属のACアダプターの使用法は、この取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。

警告



- 本機や付属品などを包装しているポリ袋は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- USBケーブルのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合（芯線の露出や断線など）、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。

⚠ 警告

- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- ACアダプターに水をかけたり、ぬらしたりしないでください。ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、ACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿やふんなどが中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 本機やACアダプターの近くで、マニキュア・除光液などの揮発性液体を使用しないでください。本機やACアダプターの内部に入ると引火すると火災の原因となります。
- ぬれた手で、ACアダプターを扱差しないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。
- 点灯しているライトを直接見ないでください。視力障害の原因となります。
- スピーカーを耳にあてないでください。難聴などの原因となります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたり、金属物と接触させたりしないでください。電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となります。



- 万一、ACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音をするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACアダプターが容易に取外しできるようにしてください。
- ACアダプターは、必ず本機にご使用ください。他の機器または他メーカーの製品と組合わせて使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。



⚠ 注意



- 本機やACアダプターは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機やACアダプターは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- USBケーブルを本機から抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずコネクタを持って抜いてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



- 本機を移動させる場合、必ずUSBケーブルをACアダプターおよび本機から抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
- 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACアダプターをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取出してください。電池を入れたまま放置すると、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
- 電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意して、指定表示どおりに入れてください。間違えると、電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 万一、電池の液もれが起こったら、販売店にご相談ください。また、液が目に入ったり、身体についたりしたときは、こすらずにきれいな水で洗い流して、すぐに医師にご相談ください。

使用上のご注意

本機の故障の原因となるため、次のような使い方はしないでください。

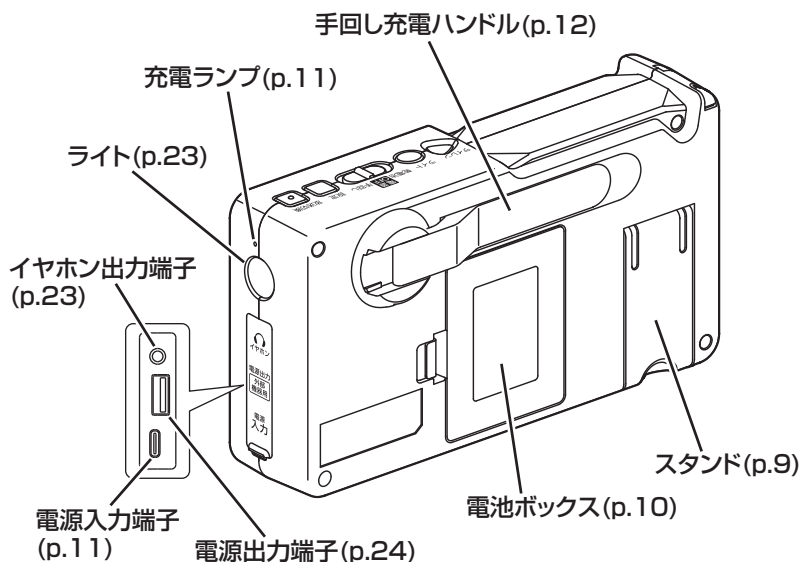
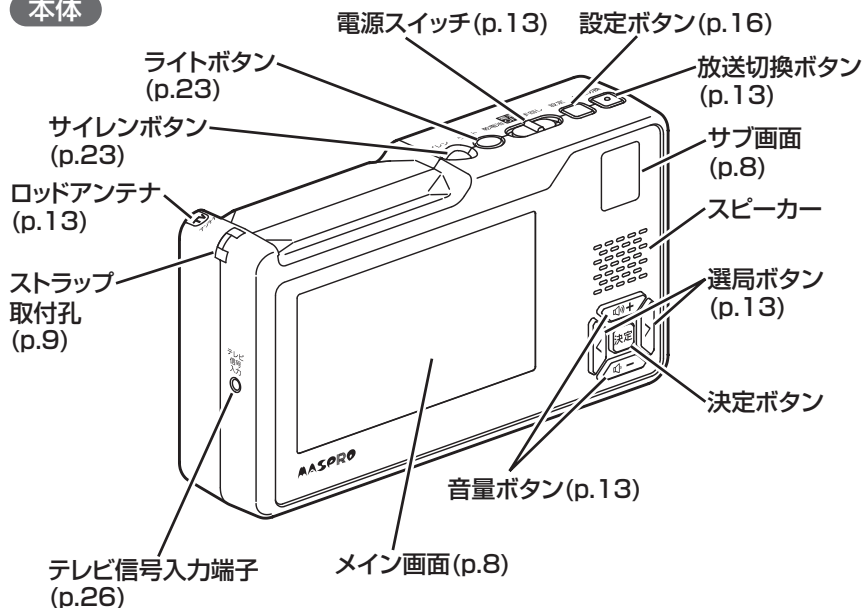
- バッテリーを内蔵していない機器を本機で給電する。
- 複数台の機器を同時に本機で充電する。

- ワンセグテレビとAM・FM(ワイドFM)ラジオを受信できます。
- 4種類の電源(単3形乾電池、内蔵バッテリー、ACアダプター、モバイルバッテリー)で使用できます。
- 内蔵バッテリーは、長期保管していても充電可能なコンデンサー充電池を採用しています。
- 手回し充電ハンドルを搭載していますから、非常時でも内蔵バッテリーへ充電できます。
- もしものときに役に立つ、LEDライトや周囲に知らせるサイレン、スマートフォンへ充電できる機能を搭載しています。

取扱説明書は、下記のURLまたはQRコードからもご覧いただけます。
https://www.maspro.co.jp/doc/man/m_hctvr2.html



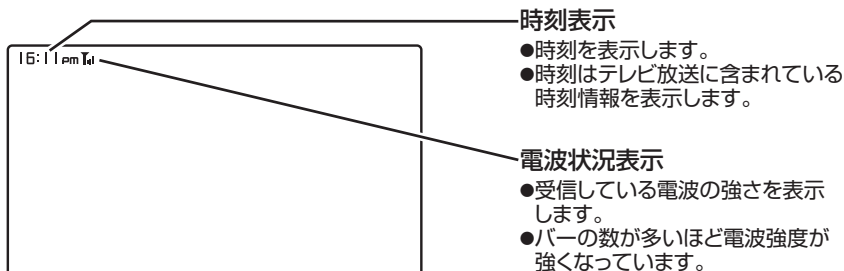
本体



メイン画面

テレビを視聴しているとき、映像およびテレビメニュー (p.16)が表示されます。

●テレビの音声のみ聴いている場合(p.21)は、画面に何も表示されません。



時刻表示

- 時刻を表示します。
- 時刻はテレビ放送に含まれている時刻情報を表示します。

電波状況表示

- 受信している電波の強さを表示します。
- バーの数が多いほど電波強度が強くなっています。

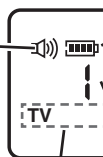
●「時刻表示」と「電波状況表示」は、テレビメニューの一般設定(p.17)でオン/オフの切り換えができます。

サブ画面

《放送視聴時》

音量表示

- 音量に応じて表示が変わります。



放送表示

- 視聴している放送を表示します。
TV : テレビ、またはテレビ(音声のみ)
FM : FMラジオ
AM : AMラジオ

電池残量表示

- 電池の残量に応じて表示が変わります。



- 残量表示は目安となります。
- 内蔵バッテリー、ACアダプターでの作動中は表示しません。

チャンネル(周波数)表示

- 選局しているチャンネル(周波数)を表示します。

《本体を充電時(p.11)
スマートフォンを充電時(p.24)》



「5.0」と表示

《音量調整時
(p.13)》



「00」～「31」を表示

《サイレン作動時
(p.23)》



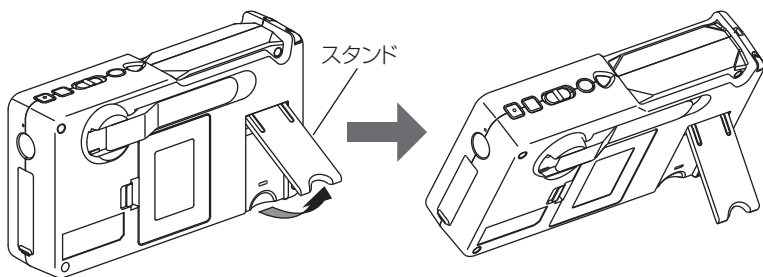
「SOS」と表示

各部の名称と機能 スタンド/ストラップ取付孔

はじめに

スタンド

本体背面のスタンドを使用することで、本体を斜めにしてテーブルの上などに置くことができます。

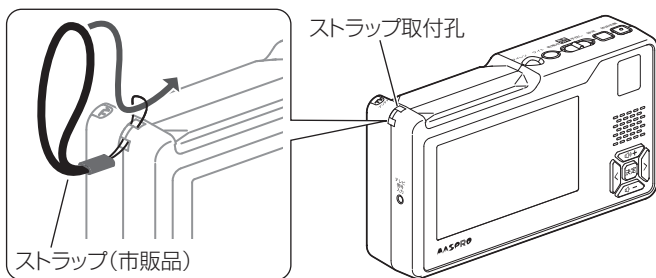


ご注意

スタンド使用時に、本体に力を加えないでください。
外れたり破損したりすることがあります。

ストラップ取付孔

ストラップ取付孔にストラップ(市販品)を取付けることができます。



ご注意

ストラップを付けた状態で、本体を振り回さないでください。

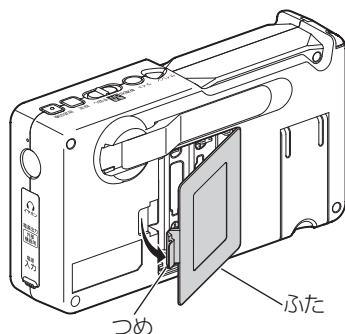
本機は市販の単3形アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電電池を使用することができます。

ご注意

- 本機に電池は付属していません。
- 電池は3本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 本機を長時間使用しないときは、電池を本機から取出してください。

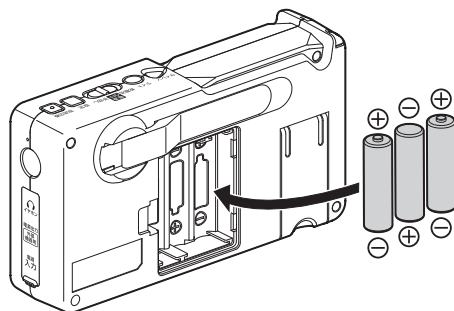
①電池ボックスのふたを取外します。

つまめを押しながら、ふたを手前に持ち上げ取外してください。



②乾電池を入れます。

乾電池を⊕・⊖の極性を間違えないように入れてください。



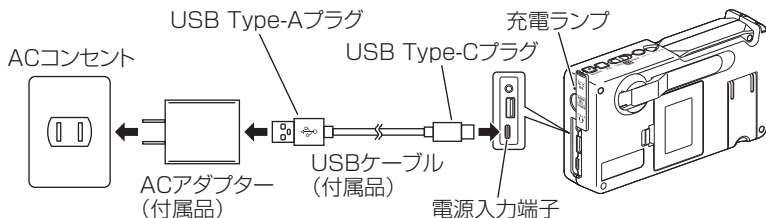
③電池ボックスのふたを元どおりに取付けます。

ACアダプターで充電する

付属のACアダプターを接続して、本機を使用したり、充電したりすることができます。

ご注意 本機に装着したニッケル水素充電電池を充電する機能はありません。

- ① 付属のUSBケーブルのUSB Type-Cプラグを電源入力端子に接続し、USB Type-Aプラグを付属のACアダプターに接続します。
- ② ACアダプターをACコンセントに接続します。
 - サブ画面に「5.0」と表示され、満充電に近づくとき充電ランプが点灯します。
 - 充電時間の目安は10分です。
 - テレビを視聴しながら充電することもできますが、満充電まで時間がかかります。
 - 充電中はAMラジオにノイズが入ることがあります。

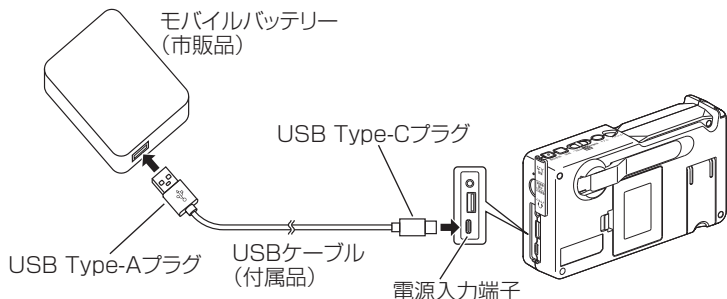


モバイルバッテリーで充電する

モバイルバッテリー（市販品）を接続して、本機を使用したり、充電したりすることができます。

5V 1.0A以上の出力に対応するモバイルバッテリーを使用してください。

- ① 付属のUSBケーブルのUSB Type-Cプラグを電源入力端子に接続します。
- ② USBケーブルのUSB Type-Aプラグを市販のモバイルバッテリーに接続します。
 - サブ画面に「5.0」と表示され、満充電に近づくとき充電ランプが点灯します。



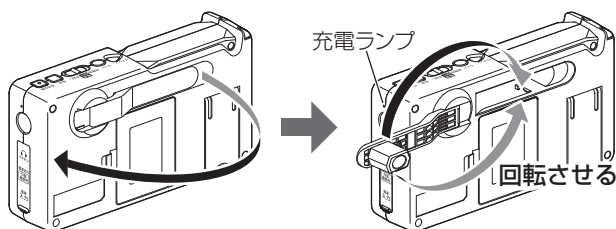
手回し充電ハンドルを回して充電する

本機の手回し充電ハンドルを回して、内蔵バッテリーを充電することができます。

- ① 乾電池 OFF 手回し が「電源OFF」になっていることを確認します。
- ② 手回し充電ハンドルを引出し、手回し充電ハンドルを回します。
 - 手回し充電ハンドルは、時計回りまたは反時計回りのどちらに回しても充電できます。ただし、一方向に回してください。
 - 満充電に近づくと、手回し充電ハンドルを回しているときに、充電ランプが常時点灯します。

ポイント

- 手回し充電ハンドルを回して本機の内蔵バッテリーを充電するときは、120～150回転/分を目安に、手回し充電ハンドルを回してください。
- 満充電の目安は、120～150回転/分で回した状態で、7～10分です。



ご注意

- 手回しの回転が遅いと、所定の充電量が得られないことがあります。
- 充電ランプの確認は、手回し充電ハンドルを120～150回転/分で行なってください。
- 内蔵バッテリーの残量が少ない状態で、手回し充電ハンドルを120～150回転/分よりも遅く回して充電した場合、充電開始直後に充電ランプが点灯、点滅することがあります。この状態では、十分に充電できていません。続けて回してください。

作動時間の目安

内蔵バッテリー（満充電時）


モード	設定	作動時間
テレビ		約10分
テレビ (音声のみ)	スピーカー 音量：10	約14分
FM	(最大音量の1/3)	約45分
AM		約50分
LED	点灯時間	約100分
サイレン	鳴動時間	約40分

アルカリ乾電池（使用温度25℃時）

モード	設定	作動時間
テレビ		約12時間
テレビ (音声のみ)	スピーカー 音量：10	約18時間
FM	(最大音量の1/3)	約45時間
AM		約50時間
LED	点灯時間	約120時間
サイレン	鳴動時間	約40時間

- ⑫ ●作動時間は使用環境により、変わることがあります。

①電源を入れる

乾電池 電源 OFF 手回し

 を「乾電池」または
 「手回し」にする

乾電池 電源 OFF 手回し

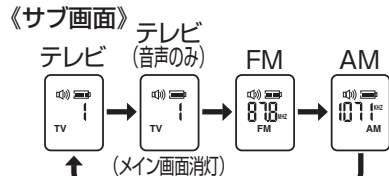
 乾電池を使用
 する場合 内蔵バッテリー
 を使用する場合

②放送を切換える

放送切換

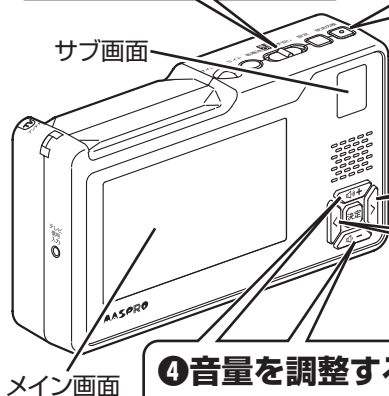
 押す

●押すたびに放送を切換えます。



●初めて使用するときは「テレビ」に切換えると、受信できる放送局をチャンネルスキャンします。


サブ画面



メイン画面

③チャンネルを選ぶ

< または > を押す

●放送が「テレビ」の場合、
 を押して、チャンネル
 リストから選局することも
 できます。(p.19)

④音量を調整する

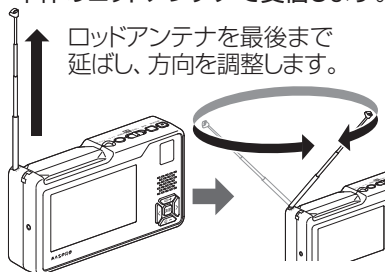
 または  を押す

●サブ画面の表示が「00」～
 「31」に変わります。

受信アンテナについて

テレビまたはFMラジオ

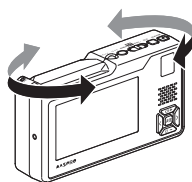
本体のロッドアンテナで受信します。



AMラジオ

本体に内蔵しているアンテナで
 受信します。

本体の向きを変えて調整します。



テレビ機能を使用する前に

- 本機に搭載しているテレビ視聴機能は、ワンセグ放送を視聴できます。
ワンセグ放送は地上デジタル放送の一部です。
- 地上デジタル放送は、全国にある電波塔から信号が電波で送出されています。
 - ・電波塔から送出される電波は、到達する範囲に制限があります。
 - ・放送エリア内でのみ、テレビ信号を受信、視聴することができます。
- 地形や周囲の建物など、さまざまな条件によって、テレビが受信できるかどうか異なるため、お客様がお使いになりたい場所において、テレビが受信できない場合があります。
テレビが受信できない場合でも本機の故障、不良とは限りません。
- 詳しくは「地上デジタル放送の受信エリア確認方法」(p.27)をご覧ください。

お使いの場所でテレビが受信できなかった場合…テレビを視聴する方法

本機はテレビ信号を入力することができます。

本機のテレビ信号入力端子にテレビ信号を入力したり、外部アンテナを接続したりすることで、テレビが受信することがあります。

方法1：住居にあるテレビ端子の信号を利用する

《接続例》「住居のテレビ端子を使用する場合」(p.26)

住居でテレビ視聴ができる場合、住居の壁面についているテレビ端子に、テレビ信号が出力されています。(テレビの受信方法は、個別のアンテナで受信、ケーブルテレビ加入などいくつかの方法があります)

テレビ端子と本機をTV接続ケーブルで接続することで、受信することがあります。

- この場合、テレビ視聴には常にケーブル接続する必要があるため、持運んでテレビ視聴することはできません。
- 接続には、本機に付属のF型-MCX変換ケーブルと別売のTV接続ケーブルが必要です。


方法2：外付けアンテナ(別売品)を使用する

《接続例》「外付けアンテナ(別売品)を使用する場合」(p.26)

本機に外付けアンテナを接続し、アンテナを屋外に近く信号受信しやすい窓際に配置することで、安定してテレビが受信することがあります。

- 外付けアンテナは、使用する場所が地上デジタル放送の受信エリアに近く、屋内でテレビの受信が不安定な場合に有効です。
受信エリアから離れている場合は、外付けアンテナを使用しても、テレビを受信することはできません。

① ロッドアンテナを最後まで延ばします。


②  をスライドして、「乾電池」または「手回し」の方向にあわせ、電源を入れます。

乾電池：乾電池を使用する場合

手回し：内蔵バッテリー（ACアダプター）を使用する場合

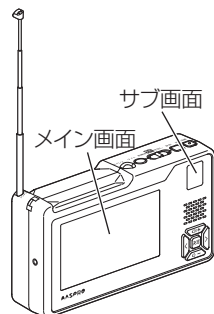
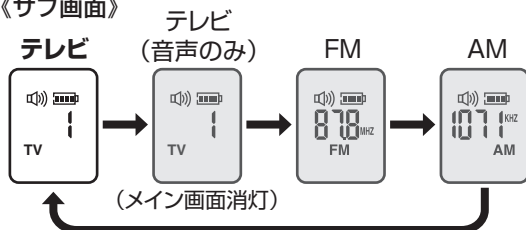
③  を押して、サブ画面の表示を「テレビ」にします。

● サブ画面でカウントが表示され、しばらくすると、メイン画面に映像が表示されます。

●  を押すたびに、放送を切換えます。

● 初めて使用するときには「テレビ」に切換えると、受信できるチャンネルをスキャンします。

《サブ画面》





で注意

テレビが受信できない場合、「放送波を受信できません。受信できる場所に移動してください。」と表示されます。

受信できる場所に移動して、チャンネルスキャンを行なってください。

● 「チャンネルを検索する」(p.18)を行うと、チャンネルスキャンを行うことができます。


④  または  を押して、チャンネルを選局します。

⑤  または  を押して、好みの音量に合わせます。

● 音量はサブ画面に表示されます。

● ボタンを押し続けると、音量は「00」～「31」まで連続して変更されます。

● 音量を「00」にすると、音声は出ません。

⑥ 電源を切る場合、 をスライドして、「電源OFF」にあわせます。

テレビの設定を変更したり、テレビの受信状態や内容を確認したりできます。

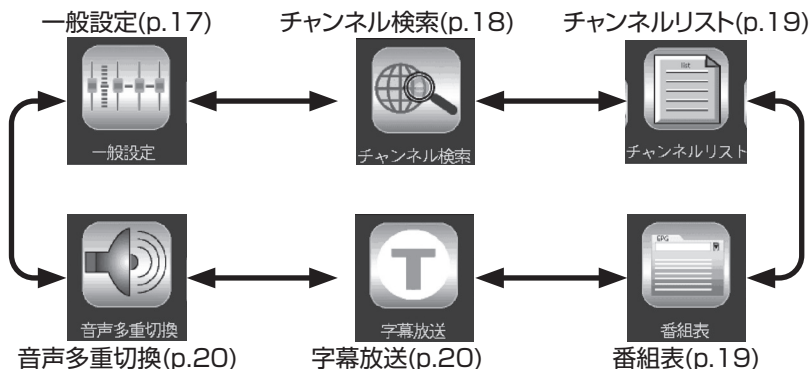
- ① テレビ視聴中に ^{設定}  を押します。

●メイン画面にテレビメニューが表示されます。



テレビメニュー

- ② < または > を押して、設定する項目を選択します。



- ③  を押します。

●メイン画面に設定項目が表示されます。

- ④ 各設定を行います。

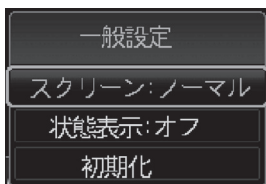
一般設定を変更する

画面表示サイズや状態表示の設定を変更できます。

- ①「テレビメニュー」(p.16)で
「一般設定」を選択し、
決定 を押します。



- ② < または > を押して、設定する項目を選択し、決定 を押します。



スクリーン

画面表示サイズを「フル」または「ノーマル」に変更します。

- 決定 を押す度に、画面表示サイズが変わります。
- 初期値は「フル」です。

【画面表示例】



フル



ノーマル

状態表示

時刻表示および電波状況表示[メイン画面(p.8)参照]のオンとオフを切替えます。

- 決定 を押す度に、表示の「オン」と「オフ」が切替わります。
- 初期値は「オン」です。

初期化

テレビの設定を初期化します。

- 決定 を押すと初期化され、チャンネルスキャンが始まります。

チャンネルを検索する

テレビのチャンネルスキャンを行います。

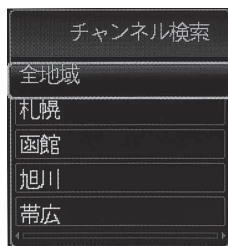
ご注意 チャンネルスキャンは、テレビが受信できる場所で行なってください。

- ①「テレビメニュー」(p.16)で
「チャンネル検索」を選択し、
決定を押します。



- ② < または > を押して、
本機を使用する地域を選択します。

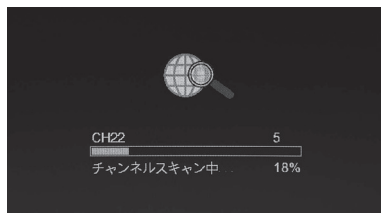
全地域：全チャンネル(ch.13～62)をスキャン
します
地域：その地域で使用されているチャンネル
のみスキャンします※



※中継局の受信地域の場合、「地域」では、スキャン
できないことがあります。

チャンネルスキャン後、放送局を受信できない場合、
「全地域」を選択して、チャンネルスキャンをして
ください。

- ③ 決定を押します。
- チャンネルスキャンを開始します。
 - チャンネルスキャン後、テレビ視聴画面
に戻ります。



チャンネルリストで選局する

チャンネルスキャンで本機に登録された放送局の一覧を表示、選局します。

- ①「テレビメニュー」(p.16)で
「チャンネルリスト」を選択し、
決定 を押します。



または、テレビ視聴中に **決定** を
押します。

●チャンネルリストが表示されます。

- ② **<** または **>** を押して、
チャンネルを選択します。

- ③ **決定** を押します。

●選択したチャンネルが表示されます。

チャンネルリスト

東海テレビワンセグ	611
NHK携帯2	621
NHK携帯G・名古屋	631
中京テレビ4	641
CBCワンセグ	651
メーテレ	661

番組表を表示する

表示しているチャンネルの番組表を表示します。

- ①番組表を表示したいチャンネルを視聴します。

- ②「テレビメニュー」(p.16)で
「番組表」を選択し、
決定 を押します。



- ③ **<** または **>** を押して、
番組内容を見たい番組を選択します。

- ④ **決定** を押します。

●選択した番組の内容を表示します。

●**決定** を押すと、番組表の表示に戻ります。

●10秒後にテレビ視聴画面に戻ります。

番組表
ニュース

00:00-00:10	ニュース ワンセ
00:10-00:20	ワンセグ ニュース

字幕を表示する

字幕放送の番組視聴時、字幕の表示を切替えます。

- ①「テレビメニュー」(p.16)で

「字幕放送」を選択し、

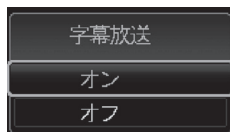
決定 を押します。



- ② **<** または **>** を押して、

字幕放送の「オン」「オフ」を選択します。

オン：字幕を表示します
オフ：字幕を表示しません



- 「オン」の場合、字幕情報を含む番組を視聴したときに、字幕が表示されます。
- 初期値は「オフ」です。

- ③ **決定** を押します。

●テレビ視聴画面に戻ります。

音声を変更する

音声多重放送の番組視聴時、音声を切替えます。

- ①「テレビメニュー」(p.16)で

「音声多重切替」を選択し、

決定 を押します。



- ② **<** または **>** を押して、

音声の「主音声」「副音声」「主+副音声」を選択します。

主音声 : 主音声で出力します
副音声 : 副音声で出力します
主+副音声 : 主音声と副音声を同時に出力します



- 視聴中の番組で切替える音声がない場合、音声は切換わりません。
- 初期値は「主音声」です。


- ③ **決定** を押します。

●テレビ視聴画面に戻ります。

テレビの画面表示を消して、音声のみ聴くことができます。

ご注意 あらかじめ、テレビの視聴[テレビを視聴する(p.15)参照]が必要です。


① ロッドアンテナを最後まで延ばします。

②  をスライドして、「乾電池」または「手回し」の方向にあわせ、電源を入れます。

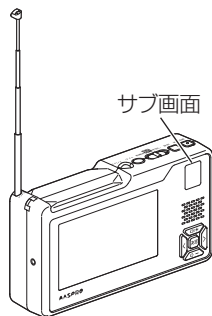
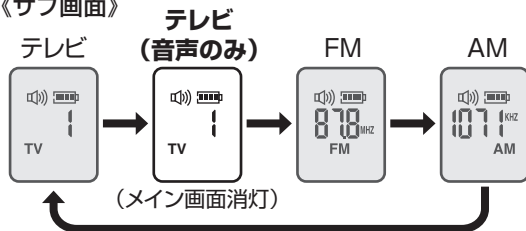
乾電池：乾電池を使用する場合



手回し：内蔵バッテリー（ACアダプター）を使用する場合

③  を押して、サブ画面の表示を「テレビ(音声のみ)」にします。

●  を押すたびに、放送を切換えます。


《サブ画面》




④  または  を押して、チャンネルを選局します。

⑤  または  を押して、好みの音量に合わせます。

- 音量はサブ画面に表示されます。
- ボタンを押し続けると、音量は「00」～「31」まで連続して変更されます。
- 音量を「00」にすると、音声は出ません。


⑥ 電源を切る場合、 をスライドして、「電源OFF」にあわせます。

① FMラジオを聴く場合、ロッドアンテナを最後まで延ばします。

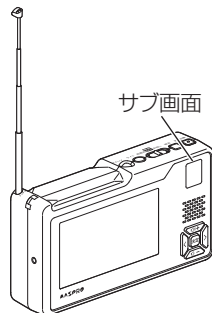
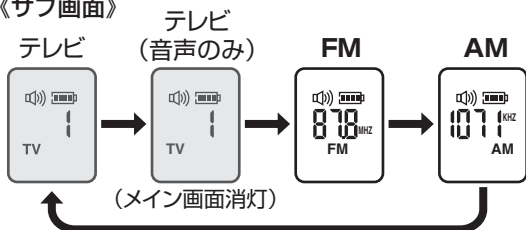
②  をスライドして、「乾電池」または「手回し」にあわせ、電源を入れます。



乾電池：乾電池を使用する場合
手回し：内蔵バッテリー（ACアダプター）を使用する場合



③  を押して、サブ画面の表示を「FM」または「AM」にします。

●  を押すたびに、放送を切換えます。

《サブ画面》




④  または  を押して、聴きたいチャンネル(周波数)を選局します。

●  または  を3秒以上押すと、受信できるチャンネルを選局します。


オートスキャンについて

設定

 を長押しすると、オートスキャンをしてチャンネルを登録することができます。

● オートスキャン完了時、登録したチャンネル数がサブ画面に表示されます。

● 登録後は、 または  で登録したチャンネルを順次選局します。


●  を押すたびに、チャンネル(周波数)選局と登録チャンネル選局が切替わります。

⑤  または  を押して、お好みの音量に合わせます。

● 音量はサブ画面に表示されます。

● ボタンを押し続けると、音量は「00」～「31」まで連続して変更されます。

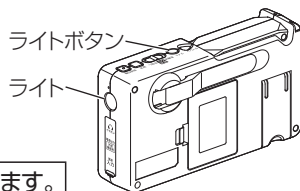
● 音量を「00」にすると、音声は出ません。

⑥ 電源を切る場合、 をスライドして、「電源OFF」にあわせます。

ライトを使う

⚠ 注意 点灯しているライトを直接見ないでください。目を痛める恐れがあります。

- ① ライト を押します。
●ライトが点灯します。
- ②ライトを消す場合、もう一度 ライト を押します。
●ライトが消灯します。



ポイント ライトはテレビやラジオを使用中でも点灯できます。

サイレンを鳴らす

- ① サイレン を長押し(約3秒)します。
●サイレンが鳴り、サブ画面に「SOS」が表示されます。
- ②サイレンを止める場合、もう一度 サイレン を長押しします。
●サイレンが止まります。

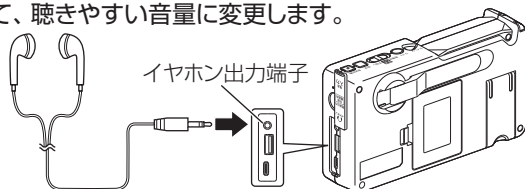
ポイント テレビまたはラジオを使用中に、サイレンを鳴らす操作をすると、サイレンを優先して鳴らします。

イヤホン出力端子を使用する

市販の3.5mmミニプラグのイヤホンまたはヘッドホンを使用することができます。

⚠ 注意 イヤホン使用時、本機の音量は徐々に上げてください。突然大きな音を出力すると、耳を痛める恐れがあります。

- ① を押して、音量を「0」にします。
- ②イヤホン出力端子に、3.5mmミニプラグを接続します。
●3.5mmミニプラグを接続すると、スピーカーから音声を出力しません。
- ③ を押して、聴きやすい音量に変更します。






ポイント ボリューム設定は、スピーカーからの音声出力と共通になります。

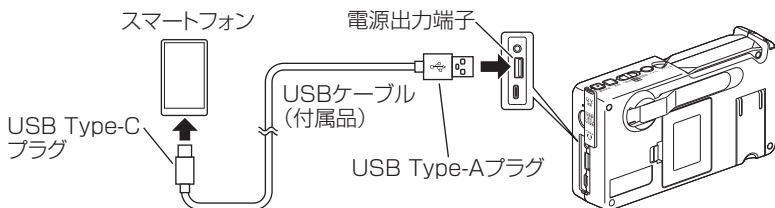
本機の電源出力端子を使用して、スマートフォンを充電することができます。

ご注意

- スマートフォンの機種によっては、充電できないことがあります。
- タブレットパソコンなど、充電容量が大きい機器には充電できません。
- バッテリーを内蔵していない機器を本機で給電しないでください。
- 複数台の機器を同時に本機で充電しないでください。




単3形電池で充電する場合

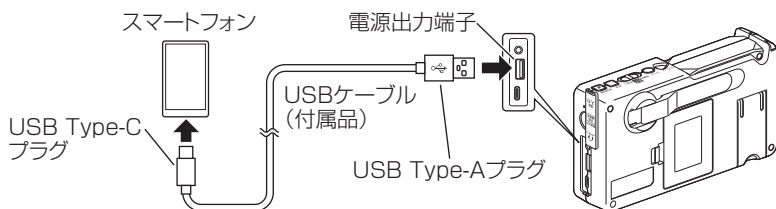
- ①本機に単3形電池を3本入れます。
- ②付属のUSBケーブルのUSB Type-Aプラグを電源出力端子に接続します。
- ③USBケーブルのUSB Type-Cプラグをスマートフォンに接続します。
 - 充電中はスマートフォンの電源をOFFにすることを推奨します。
スマートフォンの消費電力を抑えて、充電効率が向上します。
 - スマートフォンの端子が、USB Type-C以外の場合は、それぞれのスマートフォンに合ったケーブルを用意してください。
- ④  電池 OFF 手回し をスライドして、「乾電池」にあわせ、電源を入れます。
- ⑤  放送切換 を長押し(約3秒)します。
 - サブ画面に「5.0」と表示され、出力を開始します。
 - スマートフォンに充電表示が出ることを確認してください。
 - ・スマートフォンの充電表示や充電中の画面の変化については、お使いの機種や設定により異なります。
- ⑥終了するときは、 放送切換 を押します。



ご注意 単3形電池の残量がなくなると、自動で出力が終了します。

内蔵バッテリー + 手回し充電ハンドルで充電する場合

- ① 付属のUSBケーブルのUSB Type-Aプラグを電源出力端子に接続します。
- ② USBケーブルのUSB Type-Cプラグをスマートフォンに接続します。
 - 充電中はスマートフォンの電源をOFFにすることを推奨します。
スマートフォンの消費電力を抑えて、充電効率が向上します。
 - スマートフォンの端子が、USB Type-C以外の場合は、それぞれのスマートフォンに合ったケーブルを用意してください。
- ③  をスライドして、「手回し」にあわせ、電源を入れます。
 - 電源が入らない場合は、あらかじめ内蔵バッテリーを充電してください。(p.11、p.12)
- ④  を長押し(約3秒)します。
 - サブ画面に「5.0」と表示され、出力を開始します。
 - スマートフォンに充電表示が出ることを確認してください。
・スマートフォンの充電表示や充電中の画面の変化については、お使いの機種や設定により異なります。
- ⑤ 手回し充電ハンドルを回転させます。(p.12)
 - ハンドルを1分間に120～150回転を目安に回し続けてください。
- ⑥ 終了するときは、 を押します。



充電時間と通話時間の目安

お使いの機種やバッテリーの状態、使用状況によって、変わることがあります。

充電方法	充電時間	スマートフォン 連続通話時間
アルカリ乾電池	約60分	約100分
内蔵バッテリー + 手回し充電 (1分間に120～150回転)	約10分	約10分

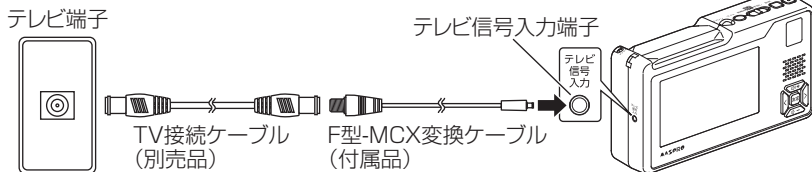
本機のテレビ信号入力端子に、住居のテレビ端子や別売のUHF卓上アンテナ、外付けアンテナを接続して、テレビを受信することができます。

ご注意

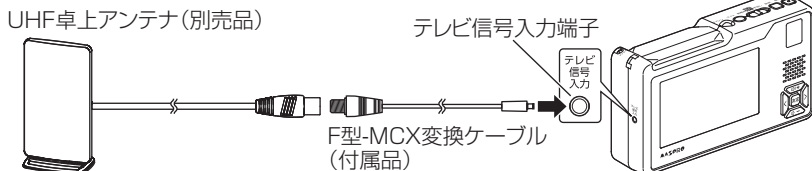
本機のテレビ信号入力端子に外付けアンテナ、またはF型-MCX変換ケーブルを接続すると、受信回路が切替わるため、本機のロッドアンテナで、テレビおよびFMラジオの信号を受信できなくなります。テレビおよびFMラジオの信号を受信できない場合があります。FMラジオを受信する場合、テレビ信号入力端子への接続を外してください。

《接続例》「テレビ機能を使用する前に」(p.14)、「地上デジタル放送の受信エリア確認方法」(p.27)をあわせて確認してください。

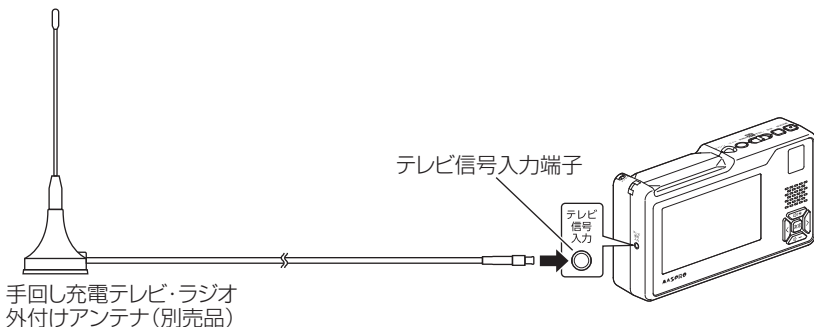
住居のテレビ端子を使用する場合



UHF卓上アンテナ (別売品)を使用する場合



外付けアンテナ (別売品)を使用する場合



本機を使ってテレビを視聴する場合、以下方法(Ⓐ、Ⓑ)による受信エリア確認、および受信確認することをおすすめします。

「テレビ機能を使用する前に」(p.14)もあわせて確認してください。

Ⓐ地上デジタル放送の受信エリア、電波塔の位置を確認する

地上デジタル放送の受信エリア、電波塔の位置は、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)が公表している、「地上デジタル放送の放送エリアのめやす」のホームページ(URL : <https://tv-area.jp/>)で確認することができます。

「地上デジタル放送の放送エリアのめやす」のホームページ確認できる放送エリアは、放送局から電波が届いており、地上10m(通常の2階建て戸建て住宅)のアンテナ高で受信可能と考えられる範囲になります。

●本機を使ってテレビを受信できるエリアとは異なるため、ご注意ください。

「地上デジタル放送の放送エリアのめやす」で受信エリアを確認した結果、

お使いの場所が放送エリア内、エリアに近いことが確認できた場合

本機でテレビを視聴できる可能性があります。

(あわせて、電波塔のある方角を確認しておく、受信確認をする際に便利です)

●実際に受信できるかどうかは、製品を使って確認が必要です。

お使いの場所が受信エリアから離れていることが確認できた場合

放送エリア外のため、本機でテレビを視聴できない可能性があります。

●実際に受信できるかどうかは、製品を使って確認が必要です。

Ⓑ本機を使って実際に受信確認する

「地上デジタル放送の放送エリアのめやす」にて受信エリアの確認ができない場合は、実際に本機を使用して、テレビ受信ができるかどうか確認をします。

機器の準備とポイント

テレビ信号を最大限受信するため、本機のロッドアンテナを最後まで伸ばしてください。テレビが受信できるか確認するときは、チャンネルスキャンを行います。

●本機でチャンネルスキャンするための操作方は、「チャンネルを検索する」(p.18)をご覧ください。

●お住まいの地域での放送局(放送チャンネル)は、当社総合カタログ、ホームページに掲載している「地上デジタル放送 チャンネル表」を参考にしてください。

下記の条件1から3の環境で、本機のチャンネルスキャンを行い、テレビが受信できるかお試しください。

受信状況	条件	確認方法
悪い ↑	条件1	屋外で受信できるか確認する。 ●屋内では、建物の影響によりテレビ信号が弱くなります。
	条件2	屋内(電波塔の方角にある窓の近く)で受信できるか確認する。
良い ↓	条件3	屋内(部屋の中心)で受信できるか確認する。

●条件1～3のいずれかでテレビを受信できることが確認できれば、使用できる場所であると判断できます。

●条件1でテレビが受信できない場合には、本機でテレビを受信できない場所(受信エリア外)の可能性がります。(27)

本機を使用中、作動不良と思われたときの対処方法をご案内します。
修理を依頼される前に、一度、以下の項目を確認してください。

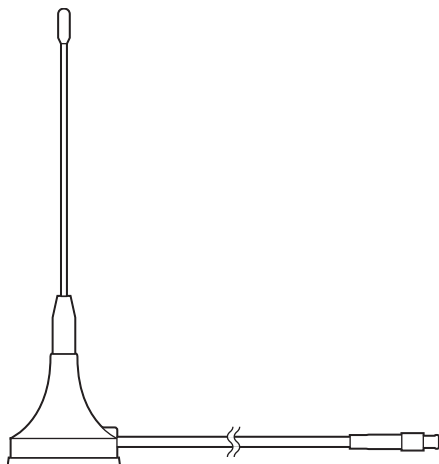
症状	原因/確認	詳細
電源が入らない	使用する電源に合わせて、電源スイッチを切換えているか確認する	単3形電池を使用する場合、「乾電池」に切換えます。 内蔵バッテリーまたはACアダプターを使用する場合、「手回し」に切換えます。
	内蔵バッテリーが消耗している、または充電されていない	内蔵バッテリーを充電してください。 (p.11、p.12)
	単3型電池が装着されていない 単3型電池が消耗している	●本機に単3形電池3本が正しく装着されていることを確認してください。 ●単3形電池3本を新しい電池に交換してください。
充電ができない (ACアダプター) (モバイルバッテリー)	ACアダプター、 USBケーブルの接続を確認する	●ACアダプターがコンセントに接続されているか確認してください。 ●USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。
テレビ(ワンセグ) が見られない	使用場所の確認 放送エリアの確認	●テレビは、地上デジタル放送の信号が受信できる場所でないとは視聴することはできません。 使用場所を確認してください。屋内の場合、建屋の影響で受信できないことがあります。 【詳細：地上デジタル放送の受信エリア確認方法(p.27)】 ●使用する場所を大きく移動した場合、放送エリアや放送チャンネルが変更になっている可能性があります。移動した場所で、再度、チャンネルスキャンが必要になります。
	受信アンテナの調整	ロッドアンテナの向きを調整することで、受信状態が改善することがあります。 外付けアンテナを接続して使用している場合、外付けアンテナの位置を変更してください。
	テレビ(音声のみ)となっている	テレビは、通常の視聴モードに加えて、メイン画面が消灯し、音声のみを聴くモードがあります。(p.21) 放送切換ボタンを押して、テレビに切換えてください。
ラジオ放送が 受信できない	アンテナの向きを確認	FMアンテナは、本体に搭載しているロッドアンテナ、AMアンテナは、本体内蔵のアンテナで信号を受信します。 ロッドアンテナの向き(FMラジオ)、本体の向き(AMラジオ)を変えると改善することがあります。
	テレビ信号入力端子の 接続を確認する	テレビ信号入力端子にF型-MCX変換ケーブル、または外付けアンテナを接続している場合、本体のロッドアンテナでFMラジオの信号を受信しません。 ケーブルを外して改善するか確認してください。

症状	原因/確認	詳細
テレビ(ワンセグ)、AMラジオ、FMラジオの音声にノイズが聞こえる	ACアダプターを確認	他の機器のACアダプターを使用すると、ACアダプターからのノイズの影響を受けることがあります。付属のACアダプターを使用してください。ノイズが気になる場合は、単3形電池を使用してください。
AMラジオ放送にノイズが聞こえる	使用場所の確認	本体の向きを確認してください。近くで電子機器を使用していると、ノイズの影響を受けることがあります。
	使用する電源の確認	本機を充電中にAMラジオを受信すると、AMラジオの電波特性によりノイズの影響を受けることがあります。充電をせずに使用するか、単3形電池を使用して、AMラジオを受信してください。
音声聞こえない(スピーカー)	本機の音量設定を確認する	音量が「00」になっていないか確認してください。放送受信中に音量ボタンを押して、音量を調整してください。
	テレビ、ラジオの放送が受信できていない	放送が受信できているか確認してください。
	イヤホンが接続されている	イヤホン出力端子にイヤホンが接続されていると、スピーカーから音声は出力されません。
音声聞こえない(イヤホン)	イヤホンの接続を確認	イヤホン出力端子に正しく接続されていることを確認してください。
	接続するイヤホンの確認	本機のイヤホン出力端子は、ステレオミニプラグ3極用です。スマートフォン用のマイク付4極プラグのイヤホンに接続した場合、相性により音声が入りません。
スマートフォンへ充電できない	ケーブルの接続を確認	USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。別のUSBケーブルに変えて試してください。
	外部給電状態になっていない	本機の電源を入れた後に、放送切換ボタンの長押しが必要です。サブ画面の表示が「5.0」となっていることを確認してください。
	電池残量を確認	●内蔵バッテリー、装着している単3形電池の残量が残っているか確認してください。電池残量が少ないと、スマートフォンへ充電することができません。 ●内蔵バッテリーを使用する場合、内蔵バッテリーに蓄えられる電力には限りがあるため、手回し充電ハンドルを回しつづける必要があります。
	充電するスマートフォンを確認	●充電のために多くの電流が必要なスマートフォン、タブレットの場合、充電できないことがあります。 ●機種によって充電できないことがあります。

手回し充電テレビ・ラジオ 外付けアンテナ

HCTVR2-ANT

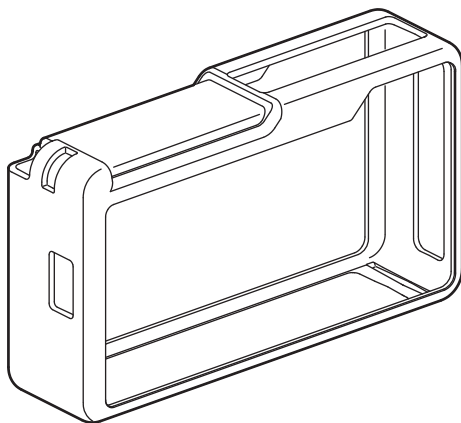
手回し充電テレビ・ラジオ専用の外付けアンテナです。



手回し充電テレビ・ラジオ シリコンケース

HCTVR2-SC

本機を傷や汚れから守るための専用ケースです。



規格表

AASPRO

項目	規格
画面サイズ	4.3インチ
スピーカー	1W ×1
受信周波数	AMラジオ：522～1710kHz FMラジオ：76～108MHz ワンセグテレビ：ch.13～62
アンテナ	AMラジオ：本体内蔵 FMラジオ・ワンセグテレビ：ロッドアンテナ
イヤホン	3.5mm ステレオ端子
電源出力端子	USB Type-A
電源入力端子	USB Type-C
テレビ信号入力端子	MCX端子
電源	単3形乾電池×3本 内蔵バッテリー 3V/100F DC 5V(ACアダプター、モバイルバッテリー使用)
使用温度範囲	0～ \oplus 40℃
外観寸法	94(H)×167(W)×45(D)mm
質量(重量)	約350g(電池含まず) 約420g(アルカリ電池使用時)

商標について

- USB Type-C[®]はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

手回し充電テレビ・ラジオ保証書

MODEL HCTVR2

持込修理

お客様ご住所	TEL.	-	-
★お客様お名前	様		
★保証期間(販売店記入欄)	お買上げ日	年	月 日から 1 年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	TEL.	-	-

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。
本書は再発行いたしません、紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

- 店舗購入の場合、故障した本製品(以下「修理品」)、付属品、ご購入日を証明できる書類(領収書など)、および本保証書を、購入した店舗にお持込みください。
通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および修理サービス申込書(弊社ウェブサイトからダウンロード)、弊社修理係に直接ご送付ください。
- お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換(以下「無償修理など」)いたします。
なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
 - ・必要な各書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
 - ・火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動、テロ行為、破壊行為、公害、塩害、ガス害、異常電圧、またはこれらに類する原因による故障および損傷
 - ・ご使用上の誤りによる故障および損傷
 - ・不当な修理や改造による故障および損傷
 - ・お買上げ後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障および損傷
 - ・特殊な環境下(例えば車庫・船舶への搭載など)で使用されたときの故障および損傷
 - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
 - ・消耗部品の交換
 - ・日本国外で購入もしくは使用された機器の故障および損傷
 - ・その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
- 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。
- 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段(宅配など)でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 無償修理などを行った場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
- お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実には発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについては弊社は責任を負いません。
- 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- 交換の場合、交換された製品・部品の所有権は弊社に譲渡されます。
- 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月の満了日のいずれか長い方とします。
- お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過しても回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
- 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただくことがあります。
- 譲渡品、中古品、転売品(オークション購入などを含む)については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
- 本製品の修理期間中、代替機器の提供は行いません。
- 本製品の出張修理は行いません。
- 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＝マスプロ電気株式会社＝

技術相談



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
インターネット www.maspro.co.jp

＝マスプロ電気＝

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。



2K57-987 EC(TK)・59-6987-2T

SEP.2025